

## 第4章 推進体制と進行管理

### 1 推進体制

「循環型社会形成推進基本計画」（環境省 平成20年3月）では、循環型社会の形成に向けて、国民、NGO/NPO、大学、事業者、地方公共団体それぞれに期待される役割を掲げており、お互い協働体制を築くことが望まれています。

#### 1) 国民の役割

国民は、消費者、地域住民として、自らも廃棄物等の排出者であり、環境への負荷を与えその責任を有している一方で、循環型社会づくりの担い手でもあることを自覚して行動するとともに、循環型社会の形成に向けライフスタイルの見直しなどをより一層進めていくことが期待されます。

#### 2) NGO/NPO、大学の役割

NGO/NPO、大学等は、自ら循環型社会の形成に資する活動や先進的な取組を行うことに加え、最新の情報収集や専門的な知識の発信などを通じて社会的な信頼性を高めるとともに、循環型社会の形成を進める上で各主体の連携・協働のつなぎ手としての役割を果たすことが期待されます。

#### 3) 事業者の役割

事業者は、環境に配慮した事業活動を行うことなどにより、自らの持続的発展に不可欠な、「社会的責任（CSR：Corporate Social Responsibility）」を果たし、とりわけ、法令遵守（コンプライアンス）を徹底し、不法投棄等の不要な社会コストの発生を防止することが求められます。また、排出者責任や拡大生産者責任を踏まえて、廃棄物等の適正な循環の利用及び処分への取組、消費者との情報ネットワークの構築や情報公開など透明性を高めつつ、より一層推進することが期待されます。

#### 4) 地方公共団体の役割

地方公共団体は、地域の循環型社会形成を推進していく上で中核としての役割を担っており、地域の自然的・社会的条件に応じた法・条例の着実な施行や廃棄物等の適正な循環の利用及び処分の実施にとどまらず、産業の垣根を越えた事業者間の協力も含め、各主体間のコーディネーターとして連携の場の提供など重要な役割を果たすことが期待されます。特に、都道府県は、広域的な観点から、市町村や関係主体の取組をリードしつつ、調整機能を果たすことが、市町村は、地域単位での循環システムの構築等、住民の生活に密着した基礎的自治体としての役割を果たすことが求められ、さらに相互に緊密に連携して協力していくことが求められます。

## 2 進行管理

本計画を効率的に運用し、実効性のあるものにするため、適切な進行管理計画を立てることが必要です。一般的に計画等の継続的改善を図ることを目的として、PDCA サイクルと呼ばれる進行管理が導入されています。本計画で掲げた数値目標等の実現のためにも、PDCA サイクルを取り入れることとします。

本計画においては、1年毎に施策の進捗を管理するためのサイクルと、約5年毎に実績と数値目標を比較・評価するためのサイクルが必要です。

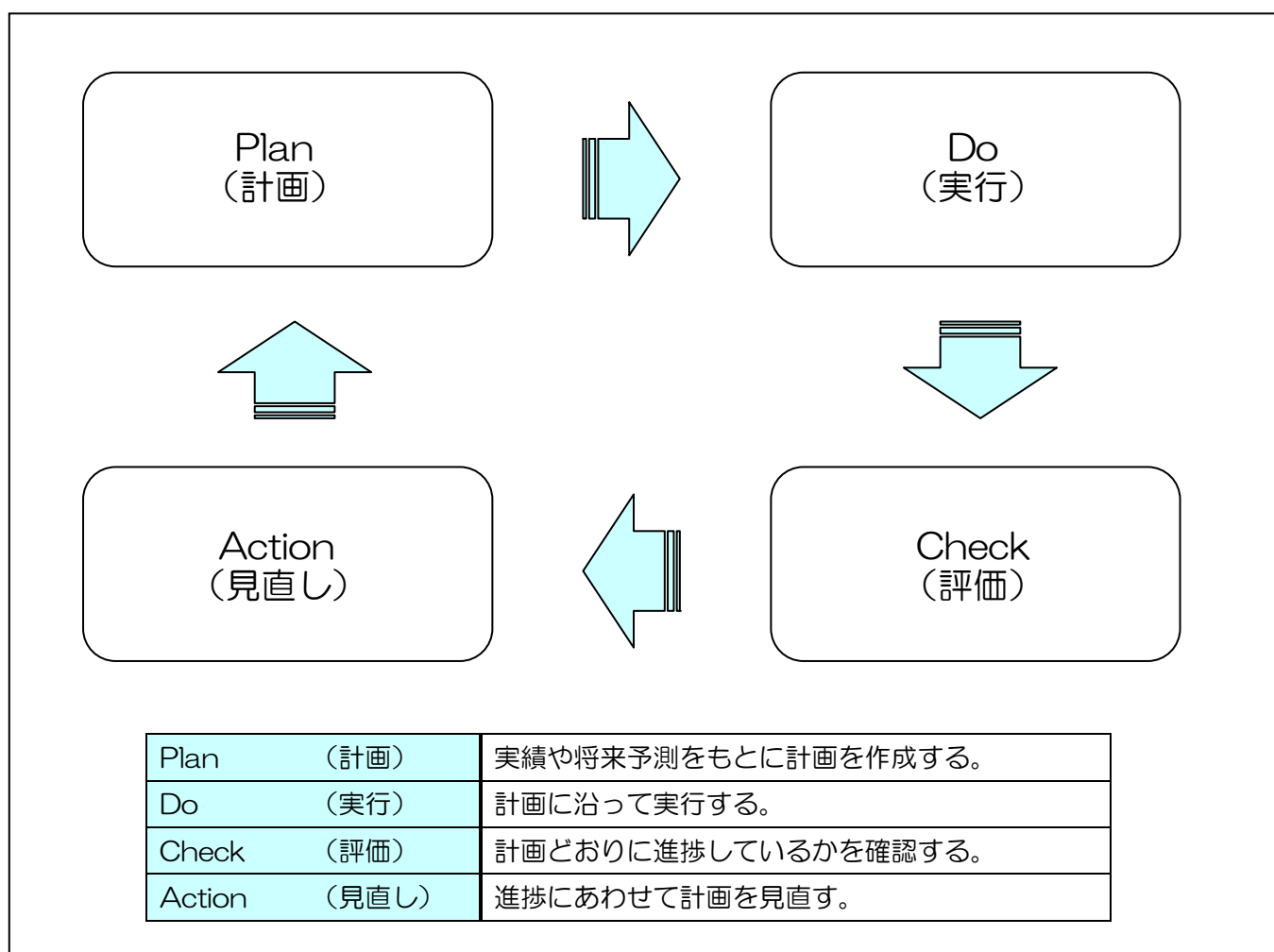


図 4.1 PDCA サイクルの概念

## (1) 進行管理サイクル（1年サイクル）

1年毎に計画進捗の管理をするために、毎年作成する一般廃棄物処理実施計画を活用するものとします。一般廃棄物処理実施計画は単年度ごとに一般廃棄物処理に関する事業計画を策定するものですが、あわせて、当該年度に取り組む施策等を具体的に定め、実行に移すものとします。1年経過した後に、一般廃棄物処理実施計画の達成状況の確認・評価をします。また、市民の関心を高めるため、その結果については、ホームページ等により公表します。これら評価については、次年度の一般廃棄物処理実施計画に反映するものとします。

表 4.1 進行管理サイクル（1年サイクル）

Plan	（計画）	一般廃棄物処理実施計画 ・当該年度の取り組む施策等の計画
Do	（実行）	一般廃棄物処理実施計画に沿って実行
Check	（評価）	一般廃棄物処理実施計画の評価 ・一般廃棄物処理実施計画の達成状況の確認 ・結果および評価の公表
Action	（見直し）	一般廃棄物処理実施計画の達成状況を確認したうえで、 次年度の一般廃棄物処理実施計画を作成

## (2) 進行管理サイクル（5年サイクル）

比較的長い期間を見据えた計画進捗の管理をするために、一般廃棄物処理基本計画を活用するものとします。一般廃棄物処理基本計画には目標年度（中間目標年度も含む）における数値目標を定めており、対象年度の実績と数値目標を比較することが可能です。また、推計等に用いた基本的事項が変動することを考慮し、おおむね5年毎に見直しを行うものとしていますが、5年以内であっても基本的事項の大きな変動があった場合には、そのつど見直しを行うものとします。

表 4.2 進行管理サイクル（5年サイクル）

Plan	（計画）	一般廃棄物処理基本計画 ・10年～15年先を見据えた今後取り組む施策等の計画 ・目標数値等の設定
Do	（実行）	一般廃棄物処理基本計画に沿って実行
Check	（評価）	一般廃棄物処理基本計画の評価 ・一般廃棄物処理基本計画の達成状況の確認 ・実績と数値目標の比較 ・結果および評価の公表
Action	（見直し）	一般廃棄物処理基本計画における基本的事項について大きな変動の有無の確認 必要に応じて、一般廃棄物処理基本計画の更新